

## 第3回丸山地区学校再編検討委員会 会議録

日時 平成24年3月26日(月)午後7時  
会場 丸山公民館 中会議室  
出席委員 21名  
欠席 粕谷委員、春原委員  
傍聴 4名

### 1. 開会

### 2. 委員長あいさつ

こんばんは。第1回は12月1日、第2回が1月26日。それで今日で第3回。第2回から第3回まで2か月ありました。数日前に届いた会議録の中には、この委員会としてベースになることが何項目もあったと自分なりに確認した所であります。また、第3回までの間に地域に帰られて、地域の方や仲間の方のお考えなどが耳に入ったら、この場で発表をお願いしますと出ました。御意見をいただけたらと思っています。年度の切り替えが間近に控え、私どもが取り組むのも切実感がある気がします。今日も活発な御意見また御質問も含めて皆様方の積極的な取り組みをお願いします。

### 3. 教育長あいさつ

こんばんは。お集まりいただきありがとうございます。本日の資料としまして海拔の関係の資料を提示しました。1703年くらいに津波が来た。海発の子安神社と真浦の威徳院に津波が来たという碑も残っています。市の方では、これから建てる公共施設は海拔14m以上の高さのところに造っていこうと基本的に考えています。それを基にして丸山、和田地区の海岸線を色で表しております。見にくいかも知れませんが後で説明しますので御覧いただきたいと思います。また、特に資料は用意していませんが、教員の人事異動につきまして、年度末に校長さん方と相談しました。どの学校も学級減になってきて、1学級減りますと最低1人は教員が減ります。ボーダーのところでは2人減になってしまう。これは国の法律で決まっています、いかんともしい難いわけです。一番学級数が少なくなると富山中は、普通学級3クラス特別支援学級1クラスの4学級で教員の配置は8人です。11教科を8人でやるという非常に厳しい状況になってきております。そういうのも私どもが再編を進めなくてはいけないという考えの基になっている。この会議を私どもの考えている方に引っ張って行こうということで申し上げているわけではありませんが、先週22日に和田地区で同じ会議を開きました。和田地区の方は小中PTAの意向を色々なアンケート等で確認しました。結論としまして中学校は早い方が良い。小学校の方は、もう一度会員の皆さんの考えを確認して結論出していきたいと思います。ということで、4月21日に和田小学校、南三原小学校のPTA総会に私どもが伺い、そのような状況を会員の皆さんに

説明を申し上げることになっております。丸山地区は丸山地区で色々な考えがあると思いますので、忌憚のないところで活発な議論をしていただければ大変有り難いと思っております。どうかよろしく願いいたします。

#### 4. 報告

第2回会議検討結果報告について

質疑等特になし

#### 5. 議事

事務局 議長委任「傍聴人の入場よろしいでしょうか。」

委員長 許可します。

(傍聴人入場)

委員長 本日の出席委員人数は20人です。過半数に達しておりますので、会議は成立いたします。第1号「丸山地区の幼稚園及び小中学校再編（案）について」を議題といたします。事務局より説明いたします。

事務局 丸山・和田地区境あたりの海拔について資料にて説明。

委員長 事務局から資料の説明がありました。前回の会議で事務局から再編案が示されております。今回はそれぞれの団体の意見集約状況などありましたらお話ししていただきたいと思っております。

委員 小学校は南三原地区内に建てるという案だったが、南三原地区内では津波が来たら駄目だと主人が言っていた。私もこの前南三原地区の道路を通ったが、防波堤がすごく低く津波が来たら軽く超えてしまう高さだと思う。また房総沖でM8以上の地震が予測されると今日のニュースで言っていたので、小学校は和田地区にという考え方はわかりますが、やはり安心安全のことを考えると南三原地区ではなく違うところに建てることも考えなくてははいけないと思っております。

委員長 ありがとうございます。他にはどうでしょうか。

副委員長 特に小学校や中学校の役員会議や総会場で今までのことを話題にされましたか。

委員 卒業式のシーズンだったのでPTAの総務役員、いわゆる本部の方は集まる機会があったと思っております。PTA総会に向けての会議もありましたので、そういう中ではもちろん話はしました。また私も小学校や中学校の卒業式に呼ばれて行きましたので、そういう中で父兄の方との話はしました。しかし、まだ総会はやっていないので、会員全員の話は今の段階ではまだ聞いていません。今ここでその話をして、それが中学校PTAの総意ですと捉えられてもまだ困ってしまいます。

副委員長 今の委員長の話は、そういう意味ではないと思っております。要するに雰囲気。お話ししたその時の雰囲気を知りたいという意味だと思います。総意と捉え

てしまうと皆さんもなかなか発言しにくいと思いますので、こういう意見もあったなどの話で私は良いかと思います。

委員 やはり両論あります。統合した方が良いという方もいますし、まだ早いのではないかという方もいました。そうしますといつになっても話が前に進んで行かない気がします。どっちが多いかは、総会など会員の方が集まる所ではないとなかなか難しいし、数だけで決めていい問題なのかというところもあります。

委員長 傾向としてお話していただきましたが、他の方どうぞ。

委員 私も立ち話ですが、小中一貫教育を目指して行くなら中学校が丸山で小学校が和田と学校間があまり離れているのではなく、丸山中の敷地内で小学校も幼稚園も一緒の方が良いという話がありました。

委員長 丸山地区だけで小中一貫校を造っていけばということですか。

委員 和田も一緒に。

委員長 和田と一緒にの場合もですか。

委員 和田も一緒にという話でした。和田地区の方からするとすごく不公平だと思いますが、一貫教育を目指すのであれば、あまり離れていると子供の行き来も出来なくなる。

委員長 小学校4校を1つの小学校にまとめて、提案では小学校は南三原地区に建て、中学校は丸山中学校を使うとなっていますが、一貫教育を運営するのに離れすぎているのではないかということですね。ありがとうございます。今後この協議を進めていく上で、先ほどの教育長の話で和田の検討委員会では中学校統合は早くして欲しい。小学校統合はもう少し時間をかけて協議していくとのお話でしたが、丸山地区の協議の進め方について皆さんどうお考えですか。

委員 私は先日の和田の会議を傍聴してきました。教育長のお話のとおり中学は早くやって欲しいとのことでした。丸山中学校もそうですが、学級自体が生徒数の減少で維持出来ない。部活動についても合同チームを組んでいるとニュースにもなっている。いずれにせよ統合するなら早く一緒になりたいという保護者の方が多かったです。小学校に関しては、小学校を和田に建てるといっても半々に分かれていました。それに関して考えてみましたが、小学1年生と6年生を比べても心も体も全然違います。入学したばかりの小さいお子さんを持つ保護者は、出来るだけ近くにいて欲しいという意向があり、ある意味現状維持を望んでいる方が多いのではないかと感じました。ただ、教育ということを考えると統合していくことになると思います。この際、丸山地区に関しても中学校統合に関して異論がなければ、小学校と中学校を同時に考えていくのではなく、中学校は中学校で早期に合同会議を開いていき、

小学校に関しては4月に各PTA総会があると思われるので、基本は統合があると思いますが説明を受けながら柔軟な形で別に会議を設けていくのがいいのではないかと思います。

委員長 ありがとうございます。地域のお声ということでどうでしょうか。

委員 子供の幸せを考えた時に環境は良い環境の中で子供を育てたいと思いますよね。先生が十分ではない環境の中で子供の幸せは考えられないと思うので、その辺を保護者の方に伝えるのも大事だと思います。区長会の会長さんにお聞きしたいのですが、前回区長会での再編についてのお話はどうでしたか。

委員 区長会は年数回開催されます。区長会で各区長さんに説明はしていません。12月からこの会議に生まれて、自分の区の組長会議では、地区学校再編検討委員会が立ち上がりましたと報告はしました。また、組長会議で資料を基に会議であったことについての報告だけはしていますが、それに対する声というのはありません。あとは学校、各幼小中の役員の方々がどこまで危惧されて家庭でお話しされているか。それが無い限り各区長も同じだと思いますが、どこまで説明して良いのか分からないのが現状だと思います。今後、区長会でも学校再編について検討していかなければいけないと痛感しています。結果から言いますとなかなか地域の声は聞こえてこないというのが現状です。

委員長 ありがとうございます。他にありますか。

委員 第1回の再編検討委員会が終わった後に第2回に向けて統合についての意見を集約しようと役員の方に集まっていただきました。その時は丸小と南小の2校が統合になるのかと思い意見をお聞きしましたが、中学校に関しては部活について懸念されている声が多くありました。やはり小学校より中学校の方を早く考えて欲しいという声はありました。全員に聞いたわけではありませんが、中学生が和田に行く。もしくは丸山に来るにしてもあまり反対意見は聞いたことがない。小学校に関しては、小さい子供が今の地区と離れた地区の小学校に行くことは、例えば何かあった時にすぐに迎えに行けないなどの意見がありました。また、小学校6年間いじめがあった場合に複数の小学校が一緒になった中学校に行って打開されることが、9年間一緒になることで変わる時期を失う子供もいるとPTAの方からお聞きしました。

教育長 通学距離・時間については、間もなくスタートする富山小学校と同じくらいです。私どもは小学生でも十分通える範囲だと判断しております。文部科学省では、今後14歳以下の子供が53%になると予測し統合したくても出来ない小中学校が出てきた時にどう対応したらいいのか今研究しています。私の考えとして、前回提示した和田と丸山を一緒にした小学校が通える範囲の限度かと考えています。これ以上遠くは、子供の負担が大きくなりすぎると判断しています。また、中学校につきましても、内房外房で各1校でもい

いのではという話もありますが、その範囲はもう高校の範囲と変わらない。富山中学校は、近隣の富浦中学校や三芳中学校と統合しますと非常に広範囲になり、自転車で通うことは、ほとんど不可能と判断しました。丸山、和田の範囲でしたら自転車で通うことは可能かと考えています。この前、提示しましたものについては、これ以上は広げられない範囲の中で提案しています。また、南小、丸小、あるいは和田小、南三原小の2校で統合しても10年後は今の南小くらいの数になってきます。当然、先々に統合の話は出てくると思います。通学も可能な範囲で学年2学級規模が維持できるという判断の中で前回の提案をしました。その辺を踏まえてそれぞれの保護者としての立場、あるいは地域の人達という立場で御意見いただければ大変ありがたいと思っております。

- 委員長 今の教育長のお話を受けて、委員の皆さんの意見はどうですか。
- 委員 中学校に関して言えば、もう合同会議を開いていいのではないか。
- 委員 私には6年生の子供がいます。今サッカーを頑張っていて、選抜にも選ばれた。しかし、丸山中にはサッカー部がないため、サッカー部のある千倉中に通わせる予定です。
- 委員長 学校代表としてどのように考えますか。
- 丸中校長 震災から状況が変わり、何が一番大切なのかを考えて欲しい。子供の環境ですか。私は子供の命が何より大切だと考えます。
- 教育長 それについて緊急対応も考えていきたい。いつまでも子供たちを海拔の低いところに置いておけないので、26年度からでもスタートしていきたい。
- 委員 給食の配食は大丈夫なのか。
- 教育長 大丈夫。
- 副委員長 丸山地区のまとめとして、もう中学校については、ほぼ方向性が出ているので統合に向けての話し合い、幼稚園、小学校については、更に説明、周知し今後も協議して方向性を出していくということでまとめてはどうか
- 委員 小学校の再編案についてもっと周知してほしい。
- 委員 丸幼小のPTA総会にも来て説明してほしい。
- 委員長 他の方の意見も聞いてみたいがどうですか。
- 委員 海拔の高いところに小学校を考えて欲しい。
- 委員 小中一貫であれば災害時に学校に行けば一箇所で子供の引き渡しができる。
- 委員 丸山、和田それぞれ2校を1校に統合し、その後1校へ再統合するのがいいと思う。
- 委員 安全な場所が良い。
- 委員 丸山中に併設した小中一貫校がいいと思う。
- 委員 海拔の高いところに小中学校を集めて小中一貫でやるのが良い。

教育長 小中一貫校で小学校も中学校も丸山に持ってくるとなると和田地区の方がこの話に乗れない。

委員 中学校については、皆さんの意見として合同会議を開催してもいいのではないか。今回の資料は海拔が低いところばかりだが北三原地区も今は南三原学区である。小学校に関しても南三原学区でいいのではないか。

委員長 それでは委員の皆さんの意見をまとめると中学校は丸山中学に統合ということに異論はなく、小学校についても場所は別として4校を1校に統合するとの事務局案が良いという意見が多いかと思います。皆さんの意見をこの検討委員会の決定事項としてよろしいですか。

教育長 本当にここでの意見だけで決定としてよろしいですか。

委員 皆さん各団体の代表として出席しているのだから決定でいいと思う。何か発言したければこの委員になれば良い。

委員長 市から提案されている再編案については、各種団体で更に周知していただいて、意見を集約する必要があるかと思っています。役員会や総会等で協議検討していただければと思います。次に第2号「第4回検討委員会の日程について」を議題とします。事務局お願いします。

事務局 第2号の第4回検討委員会の日程についてですが、新年度の開催予定となります。検討委員が、所属する団体等で役員改選があるかと思っています。事務手続きに時間が必要になることから、また合同会議開催となりますと次回は5月下旬から6月上旬になるかと思いますがいかがでしょうか。また、それまでの間にPTA総会等があるかと思っていますので各団体等の意見集約に努めていただければありがたいと思います。

委員長 只今事務局から次回の日程について報告がりましたが、次回の会議日程についてはそのようなことでいいですね。第4回検討委員会は、事務局から報告のとおり5月下旬から6月上旬を予定し、事務局と相談のうえ決定いたします。これをもちまして、本日の議事を終了いたします。

(傍聴人退場)

閉会